

## 暮らしとSDGs、キュアテックスのSDGs。



いつの頃からか、あちらこちらで

「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」という言葉が聞くようになりました。

ニュースやビジネスシーンはもちろん、

最近では学校の授業にも取り入れられるようになり、

家庭で話題に上る機会も増えてきているようです。

たとえSDGsという言葉は知らなくても、

カラフルなアイコンが整然と並ぶロゴマークを、

きっと一度は目にしたことがあるでしょう。

SDGsは「持続可能な開発目標」という意味の略語で、

貧困や飢餓、エネルギー、気候変動といった地球上のさまざまな問題を、

国際社会が協力して解決を目指すための2030年までの目標です。

あまりにもスケールの大きな話なので

「自分には関係ない」と感じてしまいがちですが、

SDGsは私たちの暮らしにも深く関わること。

国連広報センターでは、「あなたにできること」の訴求にも力を入れているようで、

家や職場などで誰でもすぐにできることを紹介した冊子が

ホームページからダウンロードできるようになっています。

※国際連合広報センター：持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド(改訂版)

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/24082/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/24082/)

節電やプラスチックのリサイクル、生ゴミの堆肥化、

買い物にマイバッグ持参、マイカーより公共交通機関を利用、

といった、これまでも環境にやさしいとして推奨されていた行動が、

実はSDGsに貢献するアクションだったんだとわかり、

SDGsがぐっと身近に感じられます。

一方、企業にとっても、SDGsは目下最大の関心事となっています。

いまや世界中の企業がSDGsを経営に取り込もうと力を注いでおり、日本においても、規模の大小を問わず、これからの企業活動にはSDGsの視点が不可欠とされています。

私たちキュアテックスも、もちろん、SDGsの実現に貢献したいと考え、積極的に取り組んでいます。

その想いや具体的な取り組みをブランドサイト内にまとめてありますので、SDGsにご興味のある方は、ぜひチェックしてみてください。

株式会社キュアテックスブランドサイト(Home/企業情報/SDGsへの取り組み)  
<http://curetex.jp/corporate/sdgs/>

たとえば和紙繊維100%農園芸資材〈キュアシート〉は、農業生産性を高めて「飢餓をゼロに」することに役立ち、減農薬・減肥料農業を実現することで「陸の豊かさを守ろう」という目標の達成にも貢献できる。また水の浄化材として用いることで「安全な水とトイレを世界中に」という目標にも関わるし、さらには排水の浄化や陸上養殖におけるろ過などの分野に活用すれば「海の豊かさを守ろう」という目標につながる。

キュアテックスの事業活動はすべてSDGsの達成を目指すもの、と言えるかもしれません。

社名にCUREという言葉冠し、「ひとを、癒したい」という想いのもとで事業活動を展開するキュアテックスにとって、SDGsが目指す持続可能な社会、つまり「安心で快適な社会」「豊かな自然環境の保全」といった目標や「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いは、まさに自らが求める理想そのものなのです。

独自の商品・製品・サービスで社会のさまざまな課題を解決することが、そのままSDGsの達成につながる。

そう信じてこれからますます一生懸命取り組んでいこう、と、気持ちを新たにしています。